

第11回（仮称）えんがる町民センター建設検討協議会会議録

○ 日時 平成31年2月1日（金）午後1時30分

○ 場所 遠軽町役場 議会委員会室

○ 出席者 別紙のとおり

○ 会議内容

1 開会

＜事務局＞

本日は井上委員の欠席報告がありました。

青年会議所の橋口委員の代理で現理事長の堀田様が出席いただいております。

今回の会議から委員に変更がありましたので、ご紹介いたします。

えんがる町観光協会の村上委員が退職されましたので、その後任といたしまして、えんがる町観光協会事務局長の小林昌樹委員でございます。

また、一般公募による委員の尾中委員が退任し、その後任として尾中委員から推薦のありました藤田正明委員でございます。本日は所用により欠席しております。

2 議題

（1）（仮称）えんがる町民センターの施設名称について

説明：地域拠点施設準備室 今井参事

説明要旨
<ul style="list-style-type: none">第10回検討協議会で施設名称は検討協議会で提案、愛称について一般公募で決定することとまとまっている。 （別紙1） <p>1（仮称）えんがる町民センターの施設名称及び愛称決定の流れについて</p> <ul style="list-style-type: none">本日の会議で、施設名称の候補を（仮称）えんがる町民センター建設検討協議会において選出し、町へ提案する。 提案された施設名称を、町の部課長等で組織している（仮称）えんがる町民センター基本設計等検討委員会において、提案を受けた名称について審議を行う。 さらに2月中旬頃に議会の常任委員会で説明をしていきたいと考えている。愛称については4月上旬頃に公募を開始して、前回会議で意見がありましたが、全国に向けて募集をしていきたいと考えています。公募の要項、チラシについては事務局で作成しまして、次回会議には委員の皆様にお見せしたいと考えている。4月下旬には応募締切を行い、5月上旬に検討協議会において、愛称の選定作業を行っていただき、町に提案していただきます。5月中旬頃検討委員会で審議を行い、6月上旬に議会常任委員会と協議を行い、愛称の決定をしていきたいと考えている。愛称の決定までの時期については、現在の想定となり変更になる場合があることをご了承いただければと思います。 <p>2施設名称及び愛称について</p>

- (1) 施設名称について、町の施策、施設機能、補助金等をもとに、行政主体で定めるのが一般的です。施設の設置条例に規定する名称となるものです。例としまして遠軽町総合体育館、遠軽町図書館、遠軽町基幹集落センターなどがある。
- (2) 愛称について、施設が未永く町民に親しまれ、愛着を持って利用していただけるよう、施設名称とは別に呼称を付与するものであり、条例等に定められた正式な施設名称を変更するものではありません。愛称の決定の方法については、一般公募により選定するのが一般的です。例としてゆめホール知床、k i t a r a、h i t a r uなどがある。
- (3) 命名権（ネーミングライツ）による愛称・呼称について、施設の名称に企業名や商品名などを冠した愛称を付与する代わりに、企業等から対価を得て、施設の維持管理費等に充てるものです。施設のみならず、部屋や座席のみの名称など、幅広く募集している場合があります。このような公立文化施設で収益が見込めない施設ですと、ネーミングライツの活用により貴重な収入源になる。例としましてニトリ文化ホール、京セラドーム大阪、福岡ヤフオク！ドームなどがある。

3他施設における名称等について

- 実際にどのような名称・愛称がついているか記載しています。名称しかついていない例としまして、遠軽町福祉センター、北見市民会館、旭川市大雪クリスタルホールがあります。愛称がついている施設は名称が遠軽町保健福祉総合センターでげんき21、昨年オープンしました札幌文化芸術劇場が名称となり、hitaruが愛称となります。

また、北海道立総合体育センターが正式名称となり、きたえーるが愛称となり、命名権で北海きたえーるとなっております。学校法人北海学園が命名権を5年間買いとり、年432万円が北海道の収入となっております。

愛称はありませんが、命名権で名前がついているニトリ文化ホール、北ガスアリーナ札幌46、アドヴィックス常呂カーリングホール等があります。ニトリ文化ホールにつきましては6年契約で年2000万円の収入がある。

- ネーミングライツを導入しているのが市、都道府県がほとんどで、町村で導入しているところが少ないのが実情です。企業としましても宣伝効果がなければメリットがありませんので、大きな自治体が導入しているところです。調べたところ遠軽町と同等規模の自治体で導入しているところがあり、広島県坂町立町民交流センターではSun star Hall、宮崎県川南町文化ホールはサン A 川南文化ホールがあります。他にもネーミングライツを導入している自治体がある状況です。ただ、北海道の町村でネーミングライツを導入しているところはありません。

また、施設でだけでなく、北海道立道民活動センター愛称でかでの2・7の多目的ホールはかでのホールと言いますが、命名権で北海道鍼灸専門学校かでのホールとなっていて、2年契約で年86.2万円の収入があります。札幌ドームではローソンスカイボックスシートと座席に愛称がついています。

4設置条例及び規則について

- 公共施設を新たに設置する場合には、地方自治法の規定に基づきまして、公の施設の設置及びその管理に関する事項を条例で定めなければならないこととなっております。

現在の予定では、平成31年度中に、施設名称を冠した新規条例・規則の制定を予定しているところでございます。例として、遠軽町〇〇〇〇センター条例、遠軽町〇〇〇〇センター条例施行規則を制定するものです。

この条例に関しては、施設を適正に管理していくための必要な事項を規定するものでありまして、指定管理者に施設の管理を行わせることができることや、使用時間や休館日、使用料などを規定するものです。

後段になお書きがありますが、この新規条例とは別に、町民センターについては、以前から説明しておりますが、公民館としての位置付けを有しておりますので、社会教育法の規定に基づき、「遠軽公民館」(予定)として、遠軽町公民館条例の一部改正を行うものであります。

この施設に関する条例としては、遠軽町〇〇センター条例と遠軽町公民館条例の2本立てとなりますが、基本的には、遠軽町〇〇センター条例に基づいて、施設の管理を行うものです。

別紙1の説明については、以上でございます。

【意見】

発言者	内容
伊藤会長	別紙1について意見、質問はありますか。
委員	なし

説明要旨

(別紙2)

1 施設名称選定の基本的要素

- ・ 検討協議会として、施設名称を提案していただくこととなりますが、名称を選定する基本的な要素を1番に載せております。

施設名称を選定するに当たり、この施設がこういった機能を持った施設なのかを名称に表現して、公共施設であることをわかりやすく表現する必要があります。

これまで、町民センターの建設に係る検討を行ってまいりましたが、基本的な施設のコンセプトを(1)から(3)に掲げております。

(1)の整備方針に関しては、「福祉センターの代替施設としての役割も担った文化センターを建設すべきである。」という「遠軽町文化センター等を考える会」からの進言に基づきまして、2つの整備方針を設定しています。

①は、音楽を中心とした芸術・文化活動の拠点として、町の活性化を図る施設、②は、中心市街地に新たにぎわいや人と人との交流を創出し、町民のよりどころとなる施設でございます。

(2)の管理運営方針案につきましては、方針の中に規定している基本的な機能として、4つの機能があります。

①芸術文化活動機能、②公民館活動機能、③にぎわい創出機能、④防災機能であります。

(3)として、交付金事業につきましては、施設建設に係る財源ということで、国土交通省が所管する社会資本整備総合交付金の「都市再生整備計画事業」の実施によりまして交付金を充てることとしておりまして、町民センターに関しては、交付金の事業メニューである「地域交流センター」という位置付けを有しております。

都市再生整備計画事業につきましては、都市機能の集積を促進するために、遠軽町福祉センター、遠軽町高齢者センター、遠軽町青少年会館といった同様の機能を有する施設を統廃合し、コンパクトシティを推進するということと、地域住民の相互交流を目的に、地域活性化の拠点として文化・交流等の都市活動・コミュニティ活動を支える施設という位置付けを有しています。

2の施設名称選定のキーワードと傾向

- （１）整備方針や管理運営方針案、交付金事業のアンダーライン部分から、施設名称のキーワードが次のように挙げるすることができます。

「芸術文化」、「拠点」、「にぎわい」、「公民館」、「活性化」、「地域交流」というキーワードが挙げられると思います。

- （２）として、道内の公立文化施設の一覧表を後ろに添付しておりますので、ご覧いただきたいと思います。この一覧表は、北海道内のすべての公立文化施設を載せておりまして、古い順に並べたものでございます。昭和30年代の旭川市公会堂が一番古くありまして、4ページの平成30年完成の札幌文化芸術劇場まで、合計で116の施設の施設名称と愛称、建設年月日などを載せております。

この一覧表を見ますと、施設に付された施設名称には、一定の傾向がございます。

まず、昭和30～50年代に建設された施設には、〇〇公民館、〇〇町民会館、〇〇文化会館という漢字の表記での名称が多く付されております。

平成以降に建設された施設には、〇〇センター、〇〇ホールといった名称が多く付されており、施設での主な活動機能を配した名称が付されています。交流館やプラザといった個性的な名称も増えてきております。また、8割近くのホールには愛称も付されています。

施設名称に、〇〇ホールや〇〇劇場が付されている施設は、音楽ホールや劇場の機能に特化した施設に多く付されている傾向にあります。例えば、札幌コンサートホール kitara ですとか、函館市芸術ホール、札幌文化芸術劇場などでございます。

別紙2に戻っていただきまして、参考として、センターやプラザ、ホールなどの意味を載せておりますので、名称選定の参考にさせていただければと思います。

3施設名称案

- ここからが皆様に検討いただく部分になります。

（１）は基本的要素やキーワード・傾向をもとにした施設名称案としてここでは事務局の提案として3点挙げております。

一つ目には、遠軽町芸術文化交流センターでありまして、その理由としては、芸術・文化活動を通じて、新たなにぎわいを生み、人と人との交流を創出する拠点であるという理由になります。

二つ目には、遠軽町地域交流センターとして、交付金事業の位置づけをそのまま使用していますが、地域住民の相互交流を目的とした地域活性化の拠点であるという理由になります。

三つ目には、遠軽町芸術文化交流館又は遠軽町芸術文化交流プラザということで、芸術・文化活動を通じて、新たなにぎわいを生み、人と人との交流を創出する施設であるという理由になります。

※印の公民館については、先ほど説明したとおり、公民館条例に規定しますので、施設名称案からは除外しております。

- （２）として、そのほかに考えられる施設名称案を二つ載せておりますが、これは、基本的な要素などを踏まえていないものになります。一つ目には、えんがる町民センターでありまして、仮称としてこれまでに使用していた名称であり、馴染みがありますが、施設の活動内容や機能がわかりにくいものとなっております。二つ目の、遠軽町文化センターや文化会館については、文化活動を行うホールや会議室を有する施設の名称として一般的ではありますが、新しさを感じられないものであります。

名称案については、事務局で案として挙げたものになりますので、このほかにも、施設の機能を表現できるような名称案がありましたら、委員の皆様から提案いただきまして、最終的には一つの名称案を選定していただきたいと思っております。

【意見】

発言者	内容
伊藤会長	施設の名称について、基本的要素・キーワード・傾向をもとに施設名称案を3つ挙げています。 委員の皆さんには3つ施設名称案以外に提案がありましたらお願いしたいと思います。
平間委員	遠軽町多目的文化ホール又は遠軽多目的文化ホール
高桑委員	遠軽町芸術文化創造館
本田委員	名称にセンターとつくのが堅く感じます。今、提案いただいた館とか、センターは馴染まないのでも柔らかい表現の方が良いと思います。
大西委員	提案された3つの中から良いと思うものを選ぶか、新たに提案をするか、委員の皆さんに聴いてみたらいかがでしょう。
伊藤会長	その前に、先に提案していただいた2つについて、名称の想像している考えを附帯意見として聴かせて下さい。
平間委員	遠軽町多目的文化ホール又はえんがる多目的文化ホール 多目的に使える場所、文化は芸術と音楽に携わることができる場所という意味で、字の語呂合わせが良く感じました。
高桑委員	創造は創り出す意味があります。芸術、文化を創り出す意味です。館が堅く感じるのであればプラザでも構いません。
平間委員	例えば、遠軽多目的文化ホールにするとして、えんがるとほーるをひらがなにすると柔らかく見えると思います。（えんがる多目的文化ほーる）
高桑委員	ハーモニーホールを入れると柔らかくなります。
本田委員	愛称になるのではないのでしょうか。
伊藤会長	新しい名称が2つ提案されました。ほかに意見はありますか。
大西委員	施設の基本的な目的は名称に入った方がいいと思います。音楽を中心とした芸術と文化、交付金事業ということで地域交流を目的としていることから、芸術文化交流プラザがいいと思います。

	どこの施設も愛称があれば愛称で呼ばれます。美幌町、湧別町の施設も愛称で呼ばれます。名称は使用する目的、交付金事業の目的を考えた方がいいと思います。
宮崎副会長	施設の名称については、提案がありました遠軽町芸術文化交流センターでいいと思います。げんき21の正式名称を言える人がどれだけいるでしょうか。芸術・文化・交流の3つの目的が入っていれば名称の長さもちょうどいいと思います。愛称が決まれば、施設名称は薄くなります。
藤江委員	げんき21は保健・福祉・医療の総合センターという意味です。「げんき」と愛称で呼ぶ方が多いです。 条例では堅い名称をつけて、目的を名称に入れますので、提案にある名称でいいと思います。
伊藤会長	昔の話しに戻りますけど、昭和30年代は補助金で建てる施設が多かったです。補助金で建てる訳ですから、それに準じた名称を付けなさいとなり、会館と付ける施設が多かったです。 今は昔と違いますので、平成に入ると名称が変わってきて、愛称を付ける施設が多くなってきている。 施設ができるので現代風のフレーズと既成されている事を入れて考えなければならない。その名称を使い条例を制定する訳ですから、中途半端な名称は付けられません。内容が明らかに分かる名称がいいと思います
本田委員	資料に書いてありますが、プラザは公共の広場という意味でして、これから公共の広場として使用していくと思います。会館、館だと大きい建物のイメージがあるので、今後JR駅の横に建ちアクセスができるので、公共の広場の意味合いが出てくると思うのでプラザがいいと思います。
藤江委員	昔は会館、館が主流でしたが、センター、プラザは現代風なのでいいと思います
大西委員	〇〇センターとセンターが付く施設はあちこちにあります。
藤江委員	他の自治体でもセンターと付いている所が多いです。
高橋委員	プラザでも古いイメージがあります。
横田委員	色々なものが集まっているのがプラザというイメージがあります。
藤江委員	施設の統廃合で、福祉センター、高齢者センター、青少年会館が集まると思います。
横田委員	プラザはどちらかというと、商業施設が多いと思います。
本間委員	第1印象で遠軽町芸術文化交流センターの名称が良いと思いました。芸術、文化、地域交流の意味があり、見た感じが素敵な感じがしました。 人それぞれの感じ方はあるかもしれませんが、プラザは古いイメージに感じます。 町民を集めるという意味ではプラザというイメージですが、町外から人を集めるとなるとセンターの方がしっくりきます。
秋田委員	他の施設でセンターと呼び慣れている施設があります。

伊藤会長	<p>芸術と文化を両方発信し、地域交流をする場所ということには間違いありません。</p> <p>少し整理しますと、先ほど提案ありました多目的文化ホールの多目的は範囲が広いので、何を建つものなのか分かりにくい感じがします。</p> <p>芸術文化創造館については、確かに創り出すことはありますが、芸術、文化を創るだけの場所ではないような気がします。</p>
高桑委員	<p>これから子ども達に創造してもらいたいという意味を込めました。イメージ的には堅い気はしますね。</p>
伊藤会長	<p>芸術文化交流センターにするか、プラザにするかになります。プラザの方が柔らかいイメージがあります。資料の施設一覧を見てもプラザが付く施設がありません。</p>
本田委員	<p>目新しい感じがします。</p>
横山委員	<p>昨年オープンした hitaru は建物全体の名称は札幌市民交流プラザと言います。劇場部分は札幌文化芸術劇場 (hitaru) があり、図書館等色々入って札幌市民交流プラザとなっています。様々な施設、用途が集まってプラザという位置づけになっています。</p>
大西委員	<p>遠軽も駅に接続して色々な用途に使います。他とは違い、駅から直接アクセスできるのは強みです。</p>
伊藤会長	<p>福祉センター、高齢者センター、青少年会館の機能が入ります。福祉センターと青少年会館の貸館と高齢者センターの陶芸という機能が入ります。芸術だけではなく、劇場で発表、練習だけではなく、色々含まれていることを考えるとプラザでいいような気がします。</p>
宮崎副会長	<p>近くにプラザコープがあります。正式名称で呼ぶことはないと思いますけど。センターかプラザのどちらかだと思います。</p>
伊藤会長	<p>愛称で呼ぶようになると思います。</p> <p>プラザの方で話しが進んでいますが、遠軽町芸術文化交流プラザでどうでしょうか。</p>
委員	<p>異議なし</p>
伊藤会長	<p>検討協議会案として、遠軽町芸術文化交流プラザで決定します。</p> <p>愛称を募集しましたら、素晴らしい愛称が出てくると思います。委員の皆さんには愛称の選定の時に頭を悩ましてもらうこととなります。</p> <p>続きまして、別紙2 4諸施設の名称について事務局から説明をお願いいたします。</p>
事務局	<p>施設の名称案についてですが、遠軽町芸術文化交流プラザで提案いただくということで、今後、町の検討委員会で協議し、さらに議会で協議されます。名称の変更があるかもしれないことをご理解いただければと思います。</p>

説明要旨	
<p>4の諸室の名称について</p> <ul style="list-style-type: none"> 公立文化施設に設置される諸室の名称としては、一般的に「大ホール」や「音楽ホール」、「音楽スタジオ」、「研修室」、「和室」といった室名が付されていますが、これらの諸室の機能がわかりやすく、町民に愛着を持ってもらうということから、各部屋に対しても、愛称や呼称を付す場合があります。 <p>諸室の名称については、部屋の出入口などにサイン（室名プレート）を設置することとなりますので、予め名称を検討しておく必要がございます。</p> <p>命名権の話の際に、かでの2・7のようにホールのみ愛称を付すこともできますので、そのような方向性も踏まえながら、この施設の部屋の名称についてもどのようにしたらよいか検討していただければと思いますが、この検討については、愛称が決まってからでもよいかと思いますし、内装の色やデザインなども踏まえて、検討したほうがよいかと考えておりますので、このような検討についても、あとあと会議の議題にあげて検討いただければと思います。</p> <p>例えば和室ですと「あかしや」と名称を付けている所があります。今から皆さんの中でご検討いただければと思います。</p>	

【意見】

発言者	内容
伊藤会長	各諸室については、皆さん持ち帰っていただいて、検討していただければと思います。愛称決定が6月なので、その後になると思います。
事務局	命名権（ネーミングライツ）についてですが、町として制度を構築しないとイケません。命名権を行うかを内部で検討しなければなりません。実際に命名権でお金を出していただける企業があるのか。ということもありますので、時間をかけて進めていきたいと考えております。
伊藤会長	命名権については、今後議題に挙げたいと思います。

(2) その他

説明：地域拠点施設準備室 今井参事

説明要旨	
<ul style="list-style-type: none"> （仮称）えんがる町民センターの建設に係る事業費の部分ですが、次回の会議には示すことができると思います。詳細については次回会議でお伝えしたいと思います。その財源である、国土交通省の都市再生整備計画事業について協議をしてきたところですが、ようやく国の承認が得られることとなりまして、町民センターに対して交付金が充てられることになりそうです。これについても次回会議で詳細を伝えたいと思います。 	

【意見】

発言者	内容
伊藤会長	予算については3月の議会で決定になるかと思いますが、それまで課題である愛称公募の方法については次回会議で決めたいと思います。
大西委員	太田アドバイザーから、建築が進んでいく中で、進捗状況を町民に広報等で情報提供をしていくというアドバイスがありました。

事務局	町でドローンを持っていますので、建設場所を定期的に撮影したものを広報で情報提供するとか、後々、記録写真として残していきたいと思っています。
本間委員	駐車場で盆踊り等のイベントをするための、アンカー等を設置してもらえますか。
事務局	現在やぐらのアンカーの場所を決めて、図面に落とし込みしています。

3 次回会議日程について

2月下旬ころに検討協議会開催

管理部会・事業部会については、太田アドバイザーと進め方を協議した上で随時開催したいと考えています。

町民センターの使用料関係については、実施設計の内容が固まった状態で、ランニングコストが分からないと使用料が算出できませんので、3月以降に進めていけると考えております。

備品の関係については、選定作業を行っていくこととなります。関係団体の皆さまにご意見をいただきながら進めていきたいと思ひます。

4 閉会

(午後2時50分閉会)

第11回（仮称）えんがる町民センター建設検討協議会出席者一覧

区分	氏名	団体名等	備考
委員	横田 昌弘	遠軽町文化連盟	
委員	本間 克明	遠軽商工会議所	
委員	秋田 博	えんがる商工会	
委員	宮崎 良公	遠軽町自治会連絡協議会	
委員	小林 昌樹	えんがる町観光協会	
委員	橋口 理教	遠軽青年会議所 代理：堀田 氏	
委員	本田 ちづ子	ダンス教室 ami:φアミ	
委員	藤江 昭	遠軽町社会福祉協議会	
委員	高橋 利明	北見地区吹奏楽連盟遠軽支部	
委員	平野 由美子	フラスタジオ・UEDA	
委員	平間 喜弘	遠軽がんぼう太鼓同好会	
委員	伊藤 栄三	元遠軽町文化センター等を考える会会長	会長
委員	大西 定信	元遠軽町文化センター等を考える会委員	
委員	高桑 健次	一般公募、元遠軽町文化センター等を考える会委員	
事務局	加藤 俊之	総務部長	
事務局	斉藤 隆雄	総務部地域拠点施設準備室長	
事務局	今井 昌幸	総務部地域拠点施設準備室参事	
事務局	林 幸司	総務部地域拠点施設準備室係長	
事務局	安西 一樹	総務部地域拠点施設準備室主任	
計	19名		

欠席

区分	氏名	団体名等	備考
委員	井上 幸次	北見地区吹奏楽連盟遠軽支部	
委員	藤田 正明	一般公募、遠軽地区連合会	
アドバイザー	太田 晃正	有限会社時円プランニング代表取締役	